

林業普及週間現地情報(3/15～3/19)

森林管理課

農林漁業賞林業部門（マッシュファームなきじん）

3月15日（月）

令和3年3月15日（月）に沖縄県農林漁業賞林業部門伝達式が行われた。

沖縄県農林漁業賞は、農林漁業の経営改善、技術の近代化及び協業化の推進等で成果をあげ、農林漁家の模範となる実績をおさめた農林漁業者及び農林漁業生産集団の中で、特に優秀なものを選定して「沖縄県農林漁業賞」を贈呈している。

沖縄県農林水産漁業賞の林業部門において、きのこ類の生産振興や地域貢献が認められ、農業生産法人株式会社マッシュファームなきじんが受賞された。

今回、新型コロナウイルスの拡大防止の観点から各部門は個別に伝達式を実施しており、林業部門は受賞されたマッシュファームなきじんの地元である今帰仁村役場で行われた。

マッシュファームなきじんは、平成24年に今帰仁村にて設立され、エリンギ及びクロアワビタケの生産施設の経営を行っており、エリンギの生産量は安定した生産を誇り、県内消費量の約3割を同社が占めている。また、クロアワビタケは南方性のきのこであることから沖縄のきのことしてのブランド化が期待され、同社でも年々生産量が増えている。

また、廃菌床はリサイクルされ、今帰仁村内農家に畜産敷料や堆肥原料として提供し、農業生産向上の一助ともなっている。

更に、17名を地元から雇用しており、きのこ生産を地域の重要な産業に成長させた。これらが総合的に評価され今回の受賞となった。

今後も引き続き、生産者の皆さんと連携し県産きのこの生産振興、消費拡大に向けて取り組んでいきたい。



左から北部農林水産振興センター 新城所長
マッシュファームなきじん 外間代表
今帰仁村 久田村長



エリンギ（袋詰めされた製品）



クロアワビタケ（袋詰めされた製品）

報告者：北部農林水産振興センター 今田、大城、森田